

2. 高齢者の特徴

2.1 高齢者の聞こえ方

★このパートで使用する音声は、明治安田システム・テクノロジー株式会社様の許可をいただき、同社ＨＰ内「ＭＹ介護の広場」に掲載されているものを使用しております。

同メニューには高齢者対応情報や介護情報も多数掲載されておりますので、是非ご参照ください。

◆音声掲載ページURL：<https://www.my-kaigo.com/pub/individual/chiebukuro/taiken/choukaku/0030.html>

◆「ＭＹ介護の広場」トップページURL：<https://www.my-kaigo.com/pub/>

・音（特に高音）が聞こえ辛くなる。＊電話の呼び出し音・体温計の音など

＜対策＞

（ ）で、落ち着いて・ゆっくり話す。

・小さい音は聞こえにくく、大きい音はうるさく感じる。＊リクルートメント現象

＜対策＞

（ ）でなく、少し大きめの声・ゆっくり・ハッキリ話す。

・高音・低音の周波数がとても狭く、音程がぶれることで、聞き取りにくくなる。

＜対策＞

抑揚をつけず、（ ）の音程で話す。

・長音（ー）、促音（っ）、パ行・タ行・カ行・サ行も聞こえ辛くなる。

＜対策＞

伸ばし棒を意識して（ ）伸ばす。

小さい「っ」も一文字として意識する。

パ・タ・カ・サ行を発音するときは、言葉の始まりに力をこめる。

・言い換えの例

・生年月日 → （ ）

・しち(7)月 → （ ）月

・今週の週末 → **今度**の（ ）曜日と日曜日 など